



平成29年12月19日

第422号

新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

楽しく安全・安心な学校 穏やかな学校であるために ！

校長 高橋 祐二

師走を迎え、今年も残りわずかとなりました。皆様にとりまして、どのような一年であったでしょうか？

学校では、76日間の第2学期がまもなく終了します。子どもたちは、2学期を振り返り、新たな年、そして3学期を迎えます。私たち職員も、2学期を振り返り、3学期そして来年度へ生かしていくために、「学校評価」を実施します。また、保護者、地域の皆様にも、これまでの学校の取組について評価をお願いしたところです。皆様には、評価用紙に回答いただくとともにご意見をいただき誠にありがとうございました。

先般、皆様からご記入いただいた評価用紙に、すべて目を通させていただきました。ご意見の中には、学校の取組や指導について、好意的な意見も多くありましたが、改善を望む意見や批判的な意見も多々ありました。そのような意見については、職員一人一人が真摯に受け止めるとともに、全職員で共有し検討していきます。

さて、公益財団法人「日本漢字能力検定協会」が、毎年、「今年の漢字」を応募します。その結果、今年の漢字は「北」という漢字に決まりました。結果を聞いて、何となく、うなずける気がします。近隣国からの度重なるミサイル発射という脅威。日本国民、誰もが安全・安心を願い、平和な日々を過ごしたいと思う願いからです。

話は、「学校評価」に戻ります。保護者や地域の皆様のご意見を総括してみると、一番多かったのが、「子どもが楽しいと思える学校」「子どもが、安全に安心して通える学校」「子どもが、日常の授業を穏やかに受けれる学習環境（学校）」を望んでいるということです。これらの意見は、子どもたち、そして、保護者、地域の皆様の学校に対する基本的な願いとして受け止めました。平和な世の中を願う人間本来の欲求と合致します。

このような学校をめざし、学校では教育活動を担任のみならず全職員で評価し、問題等については共有し、学校での対応を協議してきました。しかしながら、学校だけでは、なかなか改善できなかつたり、時間を要したりすることもあるのが事実です。保護者や地域の皆様の中には、対応について懸念を抱くことも多々あったかもしれません。そのため、学校では、教育委員会や関係機関の指導を仰ぐとともに保護者と連携を図りながら、よりよい方向に向けて取り組んできました。

「子どもが楽しく、安全に安心して、そして、穏やかに生活できる学校」にするためには、やはり、学校だけでは限界があります。幾度となくお願いしてきましたように、このような学校づくりのために、学校と保護者、地域の皆様のご理解とご協力が必要です。そして、「つながり」を大切にしながら、子どもたちをより良い方向に導くために、共に手を携えながら学校も努力していきます。

学校では、一人一人の子どもたちをより良く伸ばしたいと、全職員で力を併せ教育活動を実施しています。しかし、「すべての教育活動がすべて正しい。より良い。」とは思っていません。いつでも、ご意見をください。共に、意見を交換しながら、子どもたちをより良く導いていきましょう。

学区での凶悪事件の対応として、保護者、地域の皆様、そして、警察の方々にもご協力をいただき、登下校時の子どもたちの見守り、引率をお願いしているところです。ご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

このたよりが、皆様のお手元に届く頃には、事件が解明され平穏な日々に戻り、よい年を迎えられることを心から願っております。